

# 大型クラゲ分布調査

(大型クラゲ出現調査及び情報提供事業)

寺谷俊紀

## 1. 大型クラゲ沖合域分布調査

### (1) 方法

2022年(令和4年)8月18日～19日および8月22日～23日に、試験船「島根丸」によりLCネット(網口の幅×高さが10m×10m)を用いた調査を行った。また、船橋上両舷から目視調査を行った。調査は図1の定点にて実施し、LCネットを水深50mまで沈め、1分間斜め曳きを行った後、巻き上げ速度毎秒0.3mで揚網した。

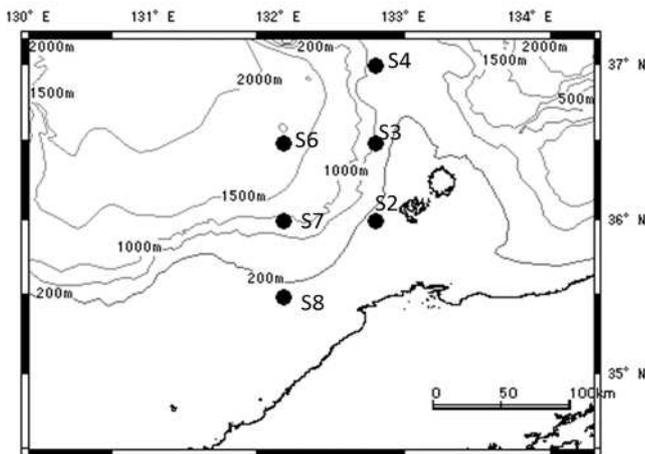


図1 洋上分布調査定点

### (2) 結果

S2で1個体(傘径推定50cm)を採集した(付表1)。

## 2. 洋上目視調査

### (1) 方法

7月20日～21日に試験船「島根丸」で船上から目視による調査を実施した。調査は図2の定点にて実施し、2マイルの距離を航走する間、船橋上両舷から目視されたエチゼンクラゲを大(傘径100cm以上)、中(傘径50～100cm未満)および小(傘径50cm未満)のサイズ別に計数した。また、8月～10月に漁業取締船「せいふう」の航行中にクラゲ来遊状況の目視調査を行った。

### (2) 結果

試験船「島根丸」による調査では、大型クラゲを確認できなかった。漁業取締船「せいふう」による調査では、8月26日に小サイズ1個体を確認

した(付表2)。

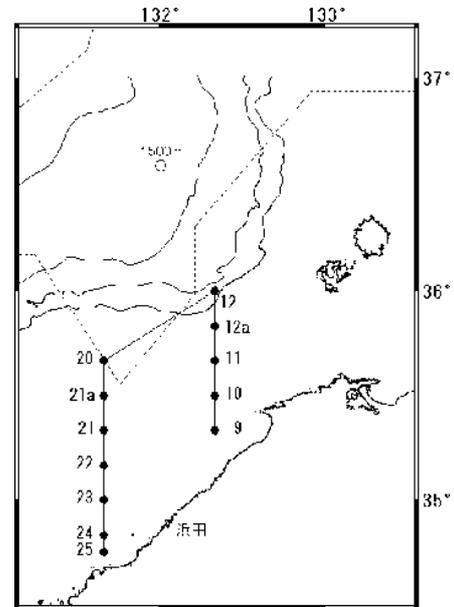


図2 島根丸洋上目視調査定点

## 3. 陸上調査

### (1) 方法

8月～9月の間、漁業協同組合JFしまね各支所等から電話による情報収集を行った。

### (2) 結果

8月～9月にかけて主に隠岐諸島周辺海域で定置網への入網が報告された。入網数量は数個体/日に留まり、漁具被害の発生はなかった(付表3)。

## 4. 成果

調査結果はJAFICに提供し、大型クラゲ出現情報として活用された。また、当所ホームページや関係漁業者へのFAX送信により大型クラゲの出現状況等を情報提供した。